

スチーム・トラップ 取扱説明書 シリーズ129YH



仕様

型番	129YHA	129YHB
適用圧力 MPa	1.0～5.0	0.3～5.0
最高使用 温度℃	450	
背圧 許容度	80%	
口径	15, 20, 25A	
接続	SW	SW, Rc
ストレーナー	内蔵	
取付姿勢	水平、垂直	

特徴

・ボディには、ステンレスを採用、小型・軽量で保守点検が容易です。
・圧力・温度条件に対して幅広く適用できます。ドレンは滞留することなく間欠に排出するため、軽負荷の装置用としても広く使用できます。



注意

安全上のご注意

- ・最高許容圧力(PMA)は耐圧部が許容する最高圧力で最高使用圧力ではありません。また、最高許容温度は耐圧部が許容する温度で最高使用温度ではありません。
- ・製品を正しく設置し、最高許容圧力、温度など仕様範囲以外での使用は絶対にしないでください。製品の破損、異常作動等により重大な事故を起こす恐れがあります。
- ・最高作動圧力差を超えて使用すると、排出不能となりますので絶対にさけてください。
- ・出口接続部は人が直接触れられないようにしてください。高温ドレンの排出によって、火傷、ケガなどの危険があります。
- ・製品の分解、取り外しは、製品内部の圧力が大気圧になってから、また表面温度が常温になってから行ってください。製品に圧力、温度が加わっている場合は、流体が吹き出しケガ、火傷をする恐れがあります。
- ・製品の修理には、正規の部品を必ず使用してください。また、製品の改造は絶対にしないでください。
- ・接続ねじ部を締め付けすぎないようにしてください。
- ・凍結の心配がある場合は、プラグから滞留ドレンを排出してください。凍結すると製品の破損の恐れがあります。
- ・ウォーターハンマの衝撃が加わらないようにしてください。

配管

- 1)トラップ前後の配管はトラップ・サイズと同じか、ひとまわり大きなサイズにしてください。
- 2)トラップ2次側の回収管が比較的短い場合は同等でもよいが、長い配管に対しては、ドレンとフラッシュスチームを同時に処理できるように、十分大きなサイズにする必要があります。もし、いくつかのトラップが共通のリターン・ラインに排出する場合は、過度の背圧を防ぐため、十分なサイズの回収管にしなければなりません。
- 3)スチーム・トラップより上部の回収管ヘッドレンを排出する場合は、停止時の逆流を防ぐために逆止弁を設置して下さい。(FIG.1 参照)

製品の取り付け

- 1)トラップを取付ける前には配管をブローして、ゴミ・スケール・金属片等を完全に取除いて下さい。特に新しい配管の場合は十分なブローを実施して下さい。
- 2)トラップヘッドレンが自然に流入しやすいように、できるだけ低い位置に取り付けて下さい。トラップ前に立ち上りがないように注意して下さい。
- 3)トラップは水平配管でも垂直(上から下)配管でも作動します。このとき、ボディ上に表示された矢印が流れの方向と一致するようにして下さい。
- 4)凍結が起こりやすいところでは、トラップ内に復水が滞留しないよう垂直配管にするか、水平配管の場合はボンネットが横向きになるように取り付けて下さい。また、トラップはできるだけドレンの取出し口に近い位置に取り付けて下さい。

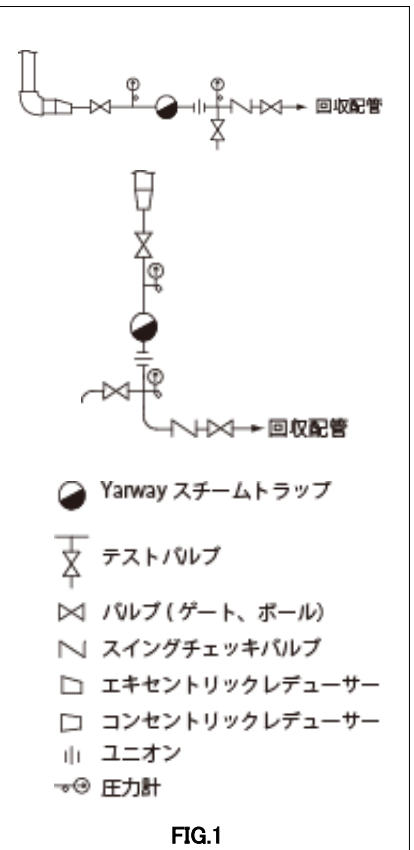


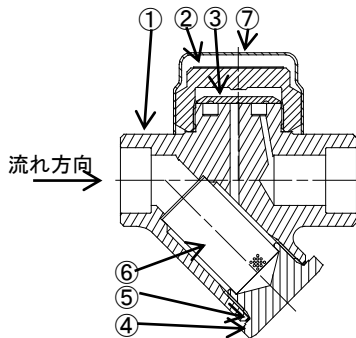
FIG.1

スチーム・トラップ 取扱説明書 シリーズ129YH

作動点検

- 1) トラップの寿命を長く保ち最良の作動条件を得るためには、ストレーナー・スクリーンを適切に掃除することをお勧めします。
- 2) 次の方法により正しいトラップの作動を点検して下さい。
 - (a) 聴診棒をボンネットに当て、バルブが開閉する際の独特のカチカチという音を聞いて下さい。
 - (b) 作動状態をみるために、トラップ後のテスト・バルブを開放し作動を確認して下さい。
 - (c) 出口の圧力計が高い値を示していないか確認して下さい。
- 3) 作動状況で不具合が生じた場合は、「8.故障原因と対策」にしたがってメンテナンスを行って下さい。
- 4) 少なくとも年1回以上の定期点検を行なって下さい。
- 5) 定検のために予備部品を用意しておいて下さい。スクリーン、スクリーンキャップ、ガスケット各1個。

構造



No.	部品名称	材質
1	ボディ	SUS410
2	ボンネット	SUS416
3	ディスク	SUS410
4	スクリーンキャップ	SUS416
5	ガスケット	SUS304
6	スクリーン	SUS304
7	ネームプレート ウェザーキャップ	SUS304

分解・点検

分解

- 1) ボンネット②をねじ戻し、ディスク③を取り出します。
- 2) 取り出したディスク及びトラップ本体のシート部は耐蝕性溶液につけたボロ布できれいに拭き取ります。トラップ内部のゴミや、付着している酸化物は作動不良の原因になりますので、ていねいに拭き取って下さい。
- 3) もし、ディスクが磨耗している場合には、新しい部品に交換して下さい。
- 4) 作動部分の掃除又は部品を交換しても、作動不良の場合はストレーナー部のスクリーンキャップ④を取り外し、スクリーン⑥を掃除して下さい。



トラップ本体の表面は高温の為、触れると火傷をします。十分冷えてから革手袋をつけて作業して下さい。また、ボンネットを分解するときは、蒸気や高温ドレンが吹き出しますのでトラップ内の内圧が抜けるのを確認してから作業を行なって下さい。



ボンネットの分解はトラップが十分冷えてから実施して下さい。また、ネジ部に焼き付きを起こすことがあります。



研磨剤をつけた布やこれに類似したものでディスクやシート部を磨かないようにして下さい。



摺合わせ修理は、ディスク及びシート面に表面焼き入れが施されていますので、摺合せにより寿命が極端に短くなり、メリットがありません。

復水が たまる	トラップ容量が小さく 絶えずドレンを排出 している	(3)
	1次側の調節弁又は ストップバルブが開 まっている	(5)
	ストレーナーの目詰 まり	(4)
	2次側のストップバルブ 又はチェックバルブが 閉まっている	(5)
	トラップが逆に取り 付けられている	(6)
	空気障害が起きて いる	(3)

保証

- 1) 保証期間
製品発送後1年間
- 2) 保証範囲
上記保証期間内に当社の責任により故障を生じた場合は、その製品の交換あるいは修理を行います。
- 3) 下記の場合は、保証期間でもその責任を負いません。
 - ① 正しい取り付け、取り扱い以外による故障、およびユーザーの責任による故障
 - ② ゴミ、スケール、カーボン、鉄くず等による故障
 - ③ 水質異常による本体内部腐食の故障
 - ④ ユーザーの分解、点検による故障
 - ⑤ 天災などの不可抗力による故障
 - ⑥ 製品破損等で現品の廃棄による詳細が不明な場合
 - ⑦ その他当社の製造責任に帰さない原因(ウォーターハンマー等)による事故、又は故障
- 4) 免責事項
本取扱説明書の記載事項が遵守されないことにより発生した不適合については、弊社の責任は免除されます。

組立

- 1) ボンネットとシートのシール面がきれいで、ごみが付着していないことを確認して下さい。もし、シール面に汚れや、損傷がある場合、ボンネットとシート部とのシールが不可能になります。
- 2) ディスク③は溝面を下にしてシートの上に置きます。
- 3) ボンネット②のネジ部にごく少量のモリコートを塗布し所定のトルクで締めこんで下さい。
- 4) スクリーンキャップ④及び本体①の当たり面を掃除し、新しいガスケット⑤をスクリーンキャップの肩に取り付けます。
- 5) スクリーン⑥をスクリーンキャップ内の窪みにはめ込み本体に所定のトルクで締め込んでください。

Size (A)	ボンネット(mm, N・m)	
	HEX	トルク値
15, 20, 25	46	98~108

Size (A)	スクリーン・キャップ (mm, N・m)	
	HEX	トルク値
15, 20, 25	38	183~202

トラブルシューティング

トラップが正常に作動しない場合は、次の表で処置します。

- (1) ディスク交換、本体交換
- (2) ディスク、シートの清掃
- (3) トラップの選定、サイズの見直し
- (4) ストレーナーの清掃
- (5) 1次側、2次側バルブの開閉
- (6) 本体矢印の向きに取り付ける

作動状況	原因	対策
生蒸気が 漏れる	ディスク、シートの 磨耗	(1)
	ディスク、シートの 汚れ	(1),(2)
	背圧が許容値を越 えている	(3)

日本フイツシャ株式会社
651-2241 神戸市西区室谷1-5-1
Tel (078)990-2015 Fax (078)992-4571